

とき の す  
時ノ寿の森通信

vol. 35

http://outdoor.geocities.jp/tokinosunomori/  
E-mail : tokinosunomori@yahoo.co.jp  
<連絡先> 掛川市倉真 7021 (TEL・FAX 0537-28-0082)

NPO 法人時ノ寿の森クラブ季刊誌  
2015.9.25 2015 秋号



2015.9.25 現在の会員数 : 正会員・賛助会員合わせて 171 人 (法人 9・個人 162)

【目次】

ごあいさつ . . . . . P 1  
時ノ寿の森クラブ スタッフ紹介 . . . . . P 2  
活動報告 . . . . . P 4～9  
お知らせ . . . . . P 10  
編集後記 . . . . . P 11

★別紙 「7～9月活動予定表」 「らんだ庵だより」



ごあいさつ

今夏も記録的な猛暑でしたが、9月に入り一転し秋雨が続き、さらに相次ぎ発生した台風により、各地で大雨による大災害が起きました。当地は、幸い被害を免れましたが、当クラブは全国各地から入会をいただいておりますので、会員の皆さまの安否が気遣われます。皆さま、お元気でお過ごしでしょうか。

そのような大災害を引き起こす極端気象は、地球温暖化が大きな原因であることを考えますと、私たちの森林保全活動の使命は、ますますクローズアップされていくことは間違いありません。

折しも先日、理事会において、来年は時ノ寿の森クラブが発足して10周年を迎えるということが話題に上りました。この間、自然環境も社会環境も大きな変動がありましたが、9年前クラブ発足時に掲げた活動目的「未来の子どもたちに豊かな森を引き継ぐために」は、その重要性は一層高まったと言えます。

この活動は、時代を超えて引き継がれていかなければなりません。そのためには、森林の大切さが、大人から子どもたちまで、地方に暮らす人から都市に暮らす人まで広まっていかなければなりません。そのような意味を含め、「森のようちえん」や「都市と山村交流」など新規事業にも挑戦をしております。

今秋予定の各種事業につきましても、会員の皆様のご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。

2015年9月25日  
松浦成夫

# 時ノ寿の森クラブ スタッフ紹介 vol.2



前号では事務局スタッフを紹介させていただきました。

今号では、時ノ寿マイスターのみなさんをご紹介いたします。

様々な技術を持った、頼もしいリーダーたちです！



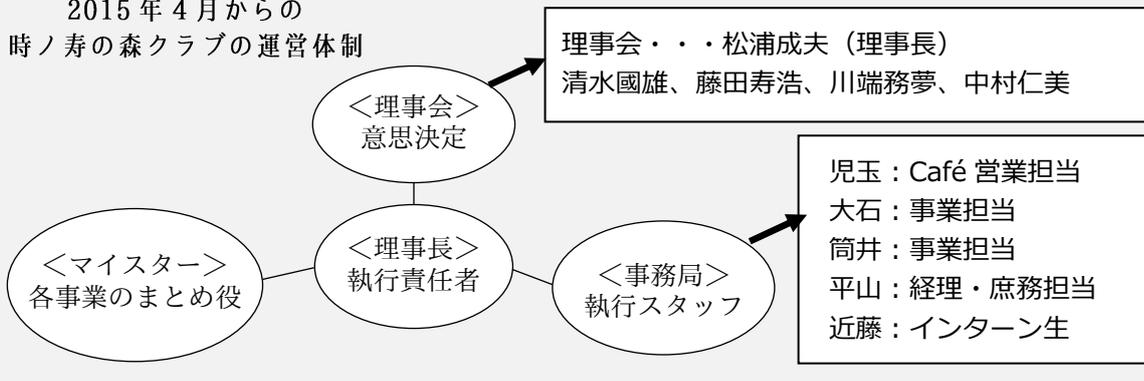
「たかしちゃん」こと 村松さん  
木や葉っぱで遊ぶ・川で遊ぶ・自然  
の中で遊ぶ。なんでも遊びのアイテ  
ムに変えてしまう田舎あそびの博士。  
木のこと魚のこと虫のことは、まずは  
「たかしちゃん」に相談を！  
村松さんは、時ノ寿マイスター以外  
にも幅広く活動中。人生の楽しみ方も  
心得ておられるようで、流石です。

「ていじい」こと 川口さん  
お仕事は造園屋さんです。植樹・伐  
木・整地・草刈り、草木のことなら川  
口さん。趣味はマラソンで、毎日  
10km (!) 走っているそう。地元  
の高校野球を熱く応援していて、地  
方大会の会場でお会いすることも。  
来年は甲子園でお会いしたいです  
ね♪



「ひろちゃん」こと 新美さん  
時ノ寿の炭焼き番長です。  
いつも顔を真っ黒にしながらか  
炭窯に入り、最高の炭をつくる努力を  
惜しみません。炭作りで出来る屑  
炭を自家菜園に利用しているそう  
で、スタッフに美味しいお野菜の  
差し入れもくださいます。ありがと  
うございます★

2015年4月からの  
時ノ寿の森クラブの運営体制



「ソン」こと 松野さん

時ノ寿の森で20歳まで過ごした松野さんは、森遊びの達人です。欲しいものは自分で作る！最近は何とyoutubeを見ながら独学で竹細工を習得中？時ノ寿の森に、子どもたちが遊べる場所やくつろぎスポットを作る計画を進行中のようです。



「けんちゃん」こと 清水さん

いつも穏やかな清水さんは、ものづくりがお上手。先日は即席ピザ窯を作ってくださいました！時ノ寿陶芸チームのとりまとめ役で、素敵な陶器を作っています。現在、森の集会所内に時ノ寿工房を整備中。前回大好評だった、時ノ寿印の陶器の販売。第二弾も近いかも？！

# 活動報告 2015.7～9

## 2015年8月14～16日 遊んで発見！ 時ノ寿の森ツアーズ

この夏企画した時ノ寿の森で山村暮らしを体験するツアーに、東京都練馬区から2組、静岡市から1組、計3組7名の親子が参加してくれました！

お子さんは、5歳の男の子2人（こうた君、かいせい君）と、4歳の女の子1人（ほづきちゃん）。

男の子たちは、初対面ながらすぐに打ち解けて、時ノ寿の森に着く頃には大はしやぎで駆け回っていました。はじめはおとなしかったほづきちゃんも、たくましく斧で薪割りをしたり、五右衛門風呂を沸かすために竹でふーふー息を吹いてくれていました。

(→つづく)



(↑虫が大好きなこうた君は、張り切って散策道を登っていました。  
お目当てのミヤマクワガタは今回取れずに残念！  
次回のお楽しみ。様々な虫を見て触れて、とっても楽しんでくれました)

(←時ノ寿の森の散策道の途中、見晴らしの良い場所があります。この日は海まで見えたでしょうか?)



がんばってお風呂を  
焚いてくれています。



## 活動報告 2015.7～9

ツアーは、時ノ寿の森とスタッフの紹介から始まり、森にある材料で作った家族の顔づくり、竹のmy箸・myカップづくり、薪割り・火おこし、五右衛門風呂の準備、夜の森でのナイトハイク、森の探検、生き物探し、流しそうめん、簡易窯での手作りピザづくり、花火にスイカ割り、らんだ庵での美味しいご飯などなど、盛りだくさんの内容で、どれも楽しく参加して頂きました！



(↓森の材料で作った家族の顔。どれも素敵！)

(↑後ろで、お父さんの真似っこ)



私たち4月からの運営スタッフにとって、2泊3日のイベントは初めてのことでした。かなりバタバタとしてしまい、お見苦しい箇所も多かったと思いますが、心温かいご家族の参加者さまたちに恵まれ、強力な会員さまたちのサポートに支えられて、素敵なツアーにすることが出来ました。当日スタッフとして一緒に頑張ってくださいました会員様方、本当にありがとうございました。

ツアーが終了して数日後。ご参加いただいたご家族のみなさんから、メールやお手紙が届きました。とっても嬉しいお言葉の数々で、読んでいて涙が出てきてしまいました…許可を頂戴して、一部をご紹介します。

- ・時ノ寿での子供は、3日間とても元気でびっくりさせられました。我が子にもこれだけの体力があるんだと認識を新たにすることができました。このこどもの潜在能力を引き出してくれたのは、豊かな自然に加えて、スタッフの皆様が温かい目で相手して下さったことだと確信しております。
- ・時ノ寿にゆかりのある方や再生活動をされている方々は、この森を育ててきたという誇りを持っておられるように見受けました。森をもっともっと良くしていこうという気持ちの強さを感じました。皆様一人ひとりが優しかったのも、この強さあってのことだと思います。皆様と出会えたことが、何よりの思い出となりました。
- ・そのような方々と接することができるだけでも子供の心の成長につながると思います。もちろん大人もとても癒されると思います。
- ・スタッフの方々が皆さんとても魅力的だと思いました。普段は家族3人で行動してその中で完結しているものが、様々な年代の方々と交流できたことは、子どもにとってもとても良かったと思います。また時ノ寿の森へ行って色々教えてもらったり、遊んだりしたいな～と思える人達がいる、ということが一番の魅力なのではないかと思います！

(つづく→)

# 活動報告 2015.7～9

・もりだくさんの体験をさせて頂いた過程の中で、山の動植物の名前、森の役割や人との関係性を学び、森の再生の必要性を知ることができました。

・息子は新幹線に乗ると、戻ろう、戻ろうと何回も言ってまた早く行きたいと何度も話しています。帰って来てからも、今度はいつ行くの？と何回も！

・せっかく魅力的な方々・いろいろな名人が揃っていることと思うので、それぞれの方を紹介する小冊子のようなものがあると良いかもしれません。たとえば、植物のことを聞いたらこの人、村の歴史ならこの人、川遊びはこの人など。

・五感を使って色々感じたり見たりできる場所。素晴らしいです。

★素敵なお手紙やメール、何よりこのツアーに参加してくださり、ありがとうございました！



(↑絵の上手なこうた君がたくさん描いて送ってくれました。集会所にお越しの際は、是非ご覧ください。どれもとっても素敵なんです。)

## ～ブログで見る近況～

### 中学校でふる里の森林の大切さを説く 2015年7月3日

掛川市立北中学校で全校生徒 477 人へふる里の森林の大切さを話させていただく機会をいただきました。北中学校は、ユネスコスクールに本年度より参加し、持続可能な開発のための教育をスタートされたそうです。複雑な社会環境に伴う教育現場の超過密化の中で、と思いがちですが、私たちやその子孫たちが、この地球上で生きていくことを困難にするような問題について考え、立ち向かい、解決するための学習なのですから、時宜を得た素晴らしい取り組みだと思えます。

北中学校には、昭和 23 年の倉真村時代に始まった「学校林経営」が、今も続いています。当時、父母や生徒を含む村の人々を挙げて森林経営を行い、教育の施設や環境を推進していこうという取り組みです。教育行政の責任とかの問題ではなく、地域を上げて子どもたちを育てていくという精神が素晴らしいと思います。それは、当時にも増して現代に通じなければいけない社会風土ではないかと痛感します。

難しい事ではなく、まずは地域を形成している森林の現状を見つめ、その森林と地域や社会の関わりを知るということは、とても大切なことです。(→つづく)



情報化とかスピード感とかが求められる経済社会において、長い悠久の時をかけて形成していく森林環境を考えるとすることは、何にも増して取り組みたい教育ではないかと思えます。

私は、大した内容の話はできませんでしたが、これからそのような大事なことを学んで行ってほしいと心から願っております。勉強や運動その他多くの中学校生活をエンジョイし、社会に大きく羽ばたいて行ってください。

もしか、心身のバランスが崩れた時には、時ノ寿の森のことを思い出し、遊びに来てください。きっとパワーをくれるに違いありません。

このような貴重な出会いをくださった北中学校の皆様から心から感謝いたします。

## 「あそびの森」大盛況！

2015年8月1日

文明社会の中で、日本の人口は平均寿命は伸びる一方で、人口は減少しています。どういふことかと思えば、子どもの数が激減しているのです。地域の太陽と言われる子どもたちの姿が見えなくて、山村はもとより地域の活性化はあり得ません。

私たち時ノ寿の森クラブは、9年前、未来の子どもたちに源流域の森林を豊かな姿で引き継ぐことを合言葉に森林保全を始め、ようやく森林が豊かな姿に戻り始めました。

この環境を、子どもたち自身はもちろんですが、父母の皆さんも存分に楽しみ、また不思議や怖いなどの多くの発見や体験をしてほしいと願っています。

そんな願いを叶えたいと思い、今年度、倉真地域にある子育て支援事業所「パンダひろば」と連携し、時ノ寿の森をキャンパスにした「森のようちえん」の試行に挑戦してみることにしました。一昨日の土曜日は、その第1回目でした。市内の未就学幼児を持つ家族7組27人は、源流の森ならではのたくさんのプログラムを満喫されました。時間を忘れて川や森で遊ぶ子どもたちの姿こそが、この事業の評価ではないかと確信しました。(→つづく)



# 活動報告 2015.7～9

---

「あそびの森」次回の開催は、11月です。多くの親子が、森を楽しんでもらいたいと思います。

※次回「あそびの森」のご案内チラシを同封いたしましたので、是非ご覧ください。

## 自然界の癒しの力 2015年8月18日

現代社会の中には、生活習慣病や心の健康への不調を引き起こす要因があふれています。人間が理性や知能を使い生きていくにも、生物として心身が健全であることが基本です。バランスを崩してしまい病的状態に陥れば、医療機関によって医学的治療が施されますが、日常生活において、一人一人が自然界の癒しの力を生活の中に取り入れることが、とても重要な時代に来ていると痛感します。

森林セラピーという言葉聞いたことがあると思います。これは、人の心身の病的状態を森林の持つ癒しの効果（森林浴と言われる。）によって改善できることを、医学的に裏付けた森林浴のことをいいます。ヨーロッパでは、医学に積極的に取り入れられているそうです。

今週火曜日、島田市で青少年の健全な適応力の育成をサポートするNPO法人もみの木のみなさんが、時ノ寿の森を使って、まさに森林セラピーを実践してくれました。4時間程度の滞在でしたが、少女たちの表情はとても和らぎ、良い笑顔を見せてくれて帰って行



かれました。時ノ寿の森の今後に、大きな自信と夢が湧いてきました。御利用頂きありがとうございました。

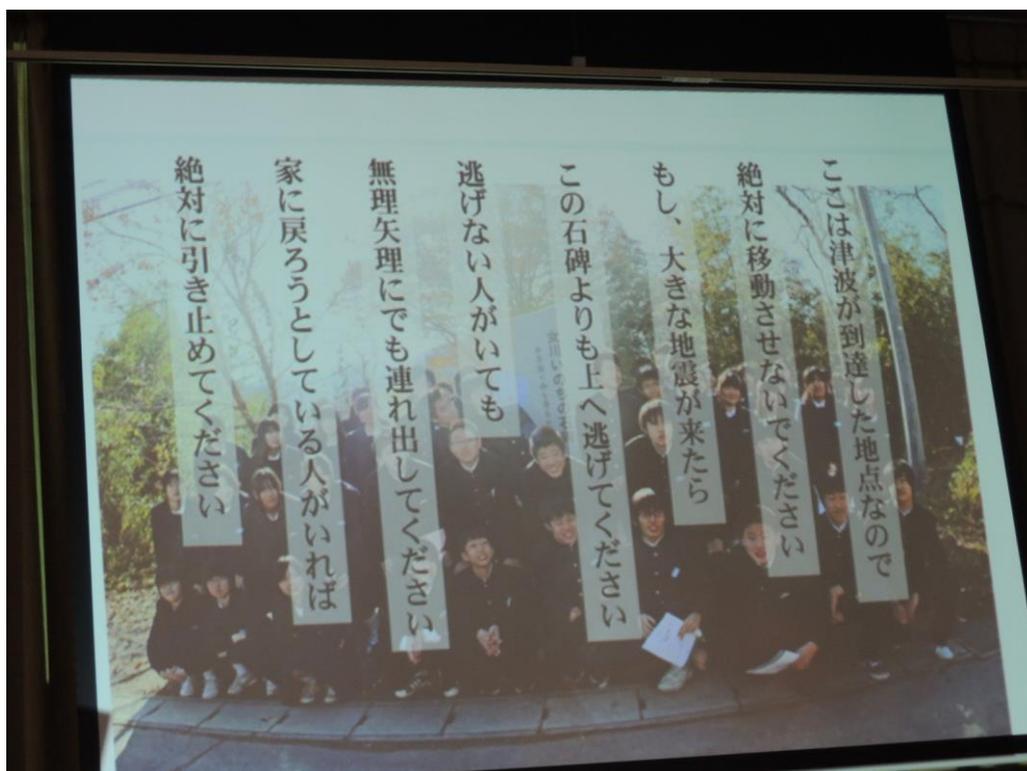
## 小さな命の意味を考える 2015年8月30日

本日、浜松市で市民と協働による学校防災として「小さな命の意味を考える講演会」が開催されました。石巻市の大川小学校では多くの子どもたちと先生の命が一瞬に失われました。当時大川小学校6年生の最愛の次女を亡くされた宮城県石巻市出身の佐藤敏郎さんが講師でした。誰もが思い出したくない悲しいことですが、佐藤さんは、大川小学校で起きた事実、ご自身が教員として宮城県女川町の中学校で体験された大惨事について、未来への学びにすべきではないでしょうかと語られ、集まった100名を超える聴衆者たちの心を熱くしてくれました。

大川小学校には助かる条件がすべてそろっていたのに、なぜ命を守ることが出来なかったのか。どんな状況下でも「命を守ること」が最優先されるべきで、その議論こそ日ごろから重要にしていなければいけないと。

防災とは、習慣と信頼をつくること。防災とは、地球との関係づくり。防災とは、『ただいま』を必ず言うこと。最愛の娘を亡くされた教訓を、未来のために生かしてもらいたいとの佐藤さんのことばには、私たちの「いのちの森づくり」に大きな力をいただいた思いでした。

佐藤さんの講演の後、超緊張しましたが、主催者の依頼により時ノ寿の森クラブの「いのちの森づくり」の活動報告をさせていただきました。3.11を自分ごととして、森林保全活動にさらなる努力をしてまいります。佐藤さん、ありがとうございました。



# お知らせ

## ～2頭の子ヤギの死と、ヤギたちの近況～

前号で誕生の報告をした2頭の子ヤギにつきまして、辛いご報告をせねばなりません。5月15日に生まれた子山羊2頭（♂イワ、♀サツキ）は、出産直後に母山羊が死亡したため、野生の摂理を基本としつつも人工の粉ミルクなどを与えながら育ててきました。生後3か月を過ぎたため、なんとかして、人間の手を少しずつ離しながら、自然界から自力によって栄養を吸収するように、切り替えに努力してきたのですが、子山羊を自立させることができませんでした。8月15日にオスのイワが、そして8月18日にメスのサツキが死んでしまいました。今まで精一杯、子山羊の世話をしてくれたスタッフをはじめ多くの皆様に感謝を申し上げます。



（↑いつも2頭一緒でした。成長のスピードはかなり遅く、生まれて3か月経っても小さかったです。）

明るいニュースもあります。残る3頭のヤギの内、2月に生まれた雄のロンが、上西郷の石山さんに引き取られました。石山さんのところにはすでにメスのヤギがいるとのことで、お婿入りです。来年辺りには、きっと可愛い子ヤギが生まれることでしょう。

これで、時ノ寿の森にいるヤギはクウとヤマの2頭です。少し、寂しくなってしまいましたが、2頭は元気いっぱいです。

森林保全活動には家畜が必要と考え、山で飼うには山羊が適していると判断し、飼いはじめました。1年間飼い、この間いろいろなアクシデントを経験し、今回あらためて家畜を飼うことの責任、義務、努力を痛感しました。山村活性化のために、残る2頭の山羊たちをしっかりと飼ってまいります。今後とも時ノ寿のヤギたちを可愛がっていただきますようお願いいたします。

## 編集後記

8月は、イベント盛りだくさんであっという間に過ぎていきました。あそびの森や時ノ寿の森ツアーズなど、こどもたちが参加するイベントが多く、普段は静かな時間が多い時ノ寿の森が、とっても賑やかで明るくなりました。こどもたちの楽しそうな声が響く場所には、理屈抜きで希望を感じます。

今後もこどもたちに参加してもらおうイベントを行っていきますが、もちろん大人のためのイベントも目白押しです！10月4日から早速始まる、掛川の風景をつくる会さんと協力して行う「暮らしに役立つ知恵を見つける」全6回のワークショップは、普段聞けない濃いお話しが聞けそうで私も楽しみにしております。

前回大好評だった「野鳥観察会」も、冬鳥バージョンが開催予定です。これを書いている現在は、時ノ寿の森ではまだ蝉の音が響いており、鳥の声はあまりしないのですが、観察会の頃には鳥たちが戻っているようです。

そして、育樹の草取り作業は人手が多ければあっという間に終わります！皆さまお誘いあわせの上、是非是非未来の森づくりにご参加くださいませ。

事務局スタッフ 平山

## 事務局スタッフから一言

今号もお読みいただき、ありがとうございました！

発行：NPO 法人 時ノ寿の森クラブ

〒436-0341 静岡県掛川市倉真7021

(0537) 28-0082

時ノ寿の森クラブの事務所がある森の集会所は、火曜定休です。

併設の森の café らんだ庵の営業日は土・日・月曜です。

[tokinosunomori@yahoo.co.jp](mailto:tokinosunomori@yahoo.co.jp)

<http://outdoor.geocities.jp/tokinosunomori/>

<https://www.facebook.com/tokinosunomori>

※新規ご入会はいつでも受け付けております。

サポーター会員様1口3,000円～です。

ご興味のある方に、是非ご紹介くださいませ。